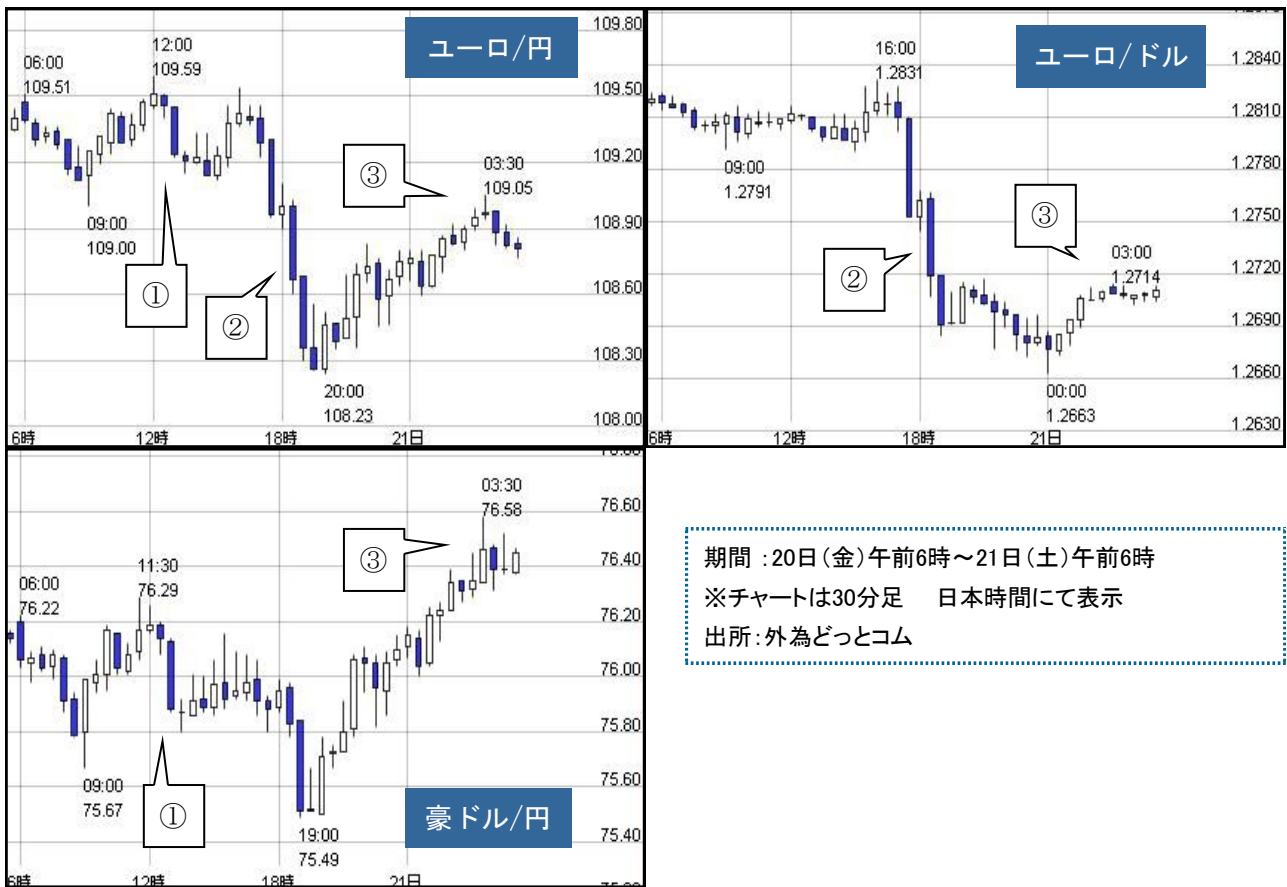


8月23日(月曜日)

ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

ユーロ圏でも緩和長期化観測、
日銀の対応がカギに

20日(金)の主な推移



①

前日に引き続き、日銀の緊急会合召集の噂から円がジリ安となり、ユーロ/円は109.59円、豪ドル/円は76.29円まで上昇した。しかし、午後に入り日銀の緊急会合が開かれぬとの見通しが広がると日経平均株価が下げ幅を拡大し、クロス円は小幅に値を下げた。

②

ウェバー独連銀総裁が、「欧州中央銀行(ECB)による無制限の資金供給は年末以降も継続する事が妥当」などと発言した事を受け、ユーロ売りが強まるとユーロ/円は7月1日以来の108円台に下落、ユーロ/ドルは節目の1.28ドルを割り込んだ事で下げが加速し1.27ドルまで下落した。

③

米国景気の先行き不安を背景にNYダウ平均が売り先行で始まり一時100ドル超の下落となると、リスク回避の動きからドル買いが進み、ユーロ/ドルは1.2663ドルの安値を付けた。ただ、ドルは対円でも上昇した事で、ユーロ/円の下落は限定的なものとなった。その後、一時100ドル超下落していたNYダウ平均が下げ幅を縮めるとユーロや豪ドルを買い戻す動きが強まり、ユーロ/円は109円台、ユーロ/ドルは1.27ドル台をそれぞれ回復。また豪ドル/円は76.58円の高値を付けた。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2650-1.2800ドル
 ユーロ/円: 107.80-109.80円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 75.20-76.70円

20日の欧州市場では、ウェーバー独連銀総裁の発言が急速なユーロ安を招いた。発言内容から見ても、反応はやや過剰とも思えるが、同総裁が欧州中央銀行(ECB)の次期総裁候補(現職のトリシェ総裁の任期は2011年10月まで)である事を考えると、来年以降の金融政策についての発言がユーロ相場に影響を及ぼす事はやむを得ないだろう。

米国に続きユーロ圏でも、金融政策の緩和が示唆される中、日銀だけが追加緩和の姿勢を示していない状態となっており、円高圧力が強まる一因となっている。20日には、菅総理・白川日銀総裁の会談が見送られるとの報道もあり、円高・ユーロ安が進みやすい地合いとなりそうだ。(神田)

21日に行われた豪総選挙で、与野党ともに過半数に達しない「ハング・パラメント」の状態となる事がほぼ確実となった。政局不透明感を嫌気する形で、本日早朝の取引では豪ドルが下落しており、豪ドル/円は75円台後半で推移している。日・米・欧で景気の先行き不透明感が漂う中、豪州の政局不透明感という懸念材料が加わる事で、目先の豪ドル/円は上値が重い展開となりそうだ。ただ、引き続き、市場には本邦当局の追加緩和観測や円売り介入観測がくすぶっており、急速に円高(豪ドル安)が進む事も考えにくい。(神田)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/23(月)	23:00		(ユーロ圏) 8月消費者信頼感・速報	-14	-14

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com